

函館チェスクラブ会報 5



<世界ジュニア選手権 アテネ2001>

高佐さん優勝 & 準優勝は大野君 >	2
10月27日チェス王者決定戦! >	3
私の青春 >	4
勝つことがすべてか? >	4
世界ジュニア選手権アテネ2001 >	6
次期世界獲得にカルポフ意欲 >	6
伝説の棋士がネットに参上 >	7
会員の熱戦譜 >	8
チェス学校 11月 >	13

発行 函館チェスクラブ

ホームページ

<http://www.fun.ac.jp/~kawagoe/chess/>

11月号 (10月20日)

高佐さん優勝 & 準優勝は大野君

高佐さんのチェス序盤講座

9月22日(土)に月例となった「函館チェスクラブ練習会」が、「ふるる函館」で開催されました。

参加者は計11名と少しさみしい感じ。しかし囲碁強豪の玉利さん、将棋強豪の嶋原さん、さらに久しぶりの高橋さん母子の参加などがあって盛り上がりました。考えてみれば連休の初日、遠いところからチェスのために足を運ぶのは、好きでなければできません。ご来場の方々に感謝しております。その思いにどのくらいこたえられるのかと思っています。

次回以降は大学生たちが戻ってきます。ちょっと期待しましょう。

今回もいつものように前半学習会、後半公式戦のメニュー。はじめに高佐さんのチェス序盤講座ということで、「ジョッコ・ピアノ」という定跡を学習しました。実際のショートゲーム(短手数)の棋譜)の紹介には「きれいな棋譜だ。」との声がありみんなで序盤の深さにふれることができました。

後半は局面指定の試合です。もちろん「ジョッコ・ピアノ」。またまた面白い局面がいっぱい出てきました。後でご紹介します。

2局目以降はブリッツ(超早指し)を体験してもらいました。ブリッツは持ち時間双方5分、切れたら負けのチェス独自の試合方法です。

この試合は実戦に慣れてもらうのが目的です。勝ち負けは気にしないで！少しでも励みになればと一応賞を設けましたが、本当は参加賞を全員

に贈りたいところでした。

優秀選手賞 高橋君、田中君

ともあれ、優勝は高佐さん、準優勝に3勝した大野君が入りました。初めて公式試合で2勝できた高橋晃彦君と、最年少ながら鋭い読みを披露した田中春行君には優秀選手賞を授与しました。三上君は運がいいのか悪いのか上位陣と当たりかかなりの善戦、強くなっていて驚きました。

最後に2組に分かれてのリレー対局を初めて実施。これが珍プレーの連続となり、異様な盛り上がり?! 当日この対戦で勝ったほうにプラス1と宣言しましたが、しかし、実はその点数がなくとも順位は同じでした。

最後のリレー戦を抜かした戦績は以下のとおりです。

=====

9月22日 函館チェスクラブ練習会

- 1. 高佐 一義 4勝0敗0分 = 4点
- 2. 大野 航 3勝1敗0分 = 3点
- 3. 嶋原 健 3勝1敗0分 = 3点
- 4. 高橋 順子 2勝1敗1分 = 2.5点
- 5. 三上 翔平 2勝2敗0分 = 2点
- 6. 高橋 晃彦 2勝2敗0分 = 2点
- 7. 浅間 花枝 1勝3敗0分 = 1点
- 8. 玉利 達夫 1勝3敗0分 = 1点
- 9. 田中 春行 1勝3敗0分 = 1点
- 10. 田中 淳子 0勝3敗1分 = 0.5点

(タイブレークは累積法+ソルコフ法)

=====

これによってレーティングも計算しなおしました。全員10局未満により仮の点数です。()内は局数と勝ち数です。

函館チェスクラブ・レイティング(10月20日現在)

Aクラス

高佐 一義	1518 (7局7勝)
大野 智之	1428 (4局2勝)
嶋原 健	1427 (4局3勝)
山田 明弘	1425 (3局1勝)
山田 弘平	1414 (0局)
川越 敏司	1400 (0局)
工藤 孝彦	1400 (0局)
本間 尚彦	1359 (4局0勝)

Bクラス

中村 健人	1148 (4局4勝)
大野 航	1134 (8局5勝)
三上 翔平	1128 (8局5勝)
山田 蒼大	1104 (0局)
河村 潔廣	1100 (0局)
山田 真明	1100 (0局)
玉利 達夫	1091 (4局1勝)

Cクラス

高橋 順子	730 (4局2勝1分)
高橋 晃彦	727 (4局2勝)
田中 春行	725 (8局3勝)
本家 和子	724 (4局1勝)
浅間 花枝	702 (8局1勝)
田中 淳子	690 (4局0勝1分)

<このレイティングには、チェス学校の正解によって加算された点数が含まれます。弘平君7問、田中君5問、蒼大君2問でした。みなさんもお応募ください。>

(山田 明弘)

10月27日チェス王者決定戦

第2回 函館チェス王者決定戦

日時:10月27日(土)

場所:ふるる函館(0138-23-5961)

連絡:上記または山田(090-7659-1888)

練習:午前9:00~12:00

競技:午後1:00~5:00

競技概要

参加費 大人300円、子供100円

20分切れ負け スイス式5局

タイブレークは 累積+ソルコフ

公式競技会ルール採用

各クラス1位~3位に賞状と賞品

初心者も楽しく、腕自慢は真剣に！誰でも参加できる公式競技会。参加予定者には幼稚園児から高齢者までいらっしゃいます。観に来るだけでもけっこうとまかく一度ご来場ください。

ロシアまつり

シャフマティエ(チェス)コーナー

日時:11月10日(土)

場所:ロシア極東大学

協力:函館チェスクラブ

練習:午前中は自由対局

競技:正午から(11:30までに受付)

当クラブ(嶋原さん)が中心となり、親睦とチェス文化紹介がメインです。競技会も行う予定。ロシアの方と言葉を超えてチェスで交流できる、そんな体験をしてみませんか？お気軽にどうぞ。

(山田 明弘)

私の青春

チェスクラブ会報一号の「二つの夢」を読み、山田先生のチェスに寄せる深い思いを感じました。プロを夢見られた高校生、今また新たな夢に向かっての、クラブ発足です。

私の学生時代は日毎に烈しさを増す戦争の中で、兄弟でも、男女は外で話をする事等は禁じられ、就職してからは、警戒警報が出ると、防空頭巾をかぶり、非常食として、炒った大豆を持ち、職場に駆けつけ、警報が解除になるまでじっと待機していました。

日曜日は、青年団として、敵が上陸してくるのにそなえて、竹槍で戦う練習です。鉄砲で撃たれればそれ迄なのに、と思っても口には出せませんでした。

戦争が終わって、世の中も変わりました。本屋には、色々な本が並び、映画も自由に見られるようになり、給料をもらうと、早速本を買い、映画もよく見ました。チェスを知ったのは、外国の映画の場面です。華やかな舞踏会の場面と共に、私には、遠い夢の世界の出来事に思えました。

時代と共に、世の中も、大きく変わってきました。

今、私は、老犬に、老人クラブに、と人の輪を広げ、洋裁を習い、コーラスを楽しみ、運動と健康のため、とダンスも始めました。そして、今度は、思ってもみなかったチェスを覚えられる機会に恵まれたのです。

初心者に教えてくださると聞いて、おそろおそろ未来大に出向きました。覚えられるかしらと云う不安と、好奇心を胸に抱いて。

対戦する前のときどきする胸の高鳴り。ふと若

返ったような思いです。思考力も決断も鈍く孫にもおそい、長く考えすぎ。」と云われます。途中で焦ったり、思考力が働かなくなったりで、困ったものです。

でも、今が私の「青春」と楽しみながら、何とかついていきたいと思っています。

(浅間 花枝)



勝つことがすべてか？

ピンス・ロンバルディの言葉、「勝つことはすべてどころか、唯一大切なことだ。」はご存知だろう。それが意味するところ(特に、厳しい練習が向上を生むという前向きな態度)には賛成だが、勝ちさえすればマナーが欠けていても許される、とは思わない。

他者と競い合い、かつ自分を最大限引き出すとする人にとって、チェスはスポーツである。しかし、辛抱できない、短気で負けず嫌いな人には、当てはまらない。

チェスは、他のスポーツ同様、人間から最良のものを引き出してくれる。特に激しい戦いの後、勝っても負けても「いいゲームができて有難う」と相手をたたえる。ボロ負けしたなら、言うまでもないが、自分のミスから何かをつかみ、同じ間違いを繰り返さないように練習すればよい！

子どもや公衆の面前でののしったり、駒を投げつけたり、大声をあげたりする人は、当然ダメなプレーヤーだ。しかし、相手と握手せず、冷たく無視する態度も、スポーツを通じて友情を育てよ

うとしない態度であり、スポーツマン・シップの何たるかを理解していない態度だ。

競技会において、トーナメントディレクター (TD) と競技者の双方には、スポーツマン・シップにかけている人に対して、次のようにする責任がある。

第一に、TDは目に余る行為を早いうちに摘み取ること。もし退場が必要ならそうすること。

第二に、競技者はスポーツマン・シップに欠けたふるまいについて、機会があれば言い方に気をつけながら指摘すること。自分が悪いと自覚しないと人は態度を改めることはできない。

最後に、チェスとは何だろう。最良の手を考え、戦略を組み立て、勝利する、それがすべてだろうか？ チェスをすることで人間的に成長できる人は、それができないグランド・マスターよりも、はるかに優れているといえるだろう。

(高佐 一義)

(以上、最近、USCFの会報チェス・ライフ7月号に掲載された記事を意識し、引用したものです。著者はポール・グリム氏。以下に原文を添付します。)

IS WINNING REALLY EVERYTHING? By Paul Grimm

We've all heard the Vince Lombardi phrase: "Winning isn't everything -- it's the only thing!" While I agree with what is implied above (namely, a positive, can-do attitude in which hard work is exercised to improve and grow), I equally disagree with the attitude that winning is so utterly important that poor sportsmanship is justified when winning eludes us.

Let me be specific: Chess is a sport for competitive people willing to test their ability to the max. It is not a sport for impatient people with short, explosive tempers who cannot stand losing at anything.

Chess, like any sport, should bring out the best in people:

Namely, playing a hard-fought game, then congratulating your opponent afterwards by saying "Thank you for the good game you gave me" regardless of whether you won or lost, and regardless of whether either one of you played a good game or did a down-right lousy job. If you or your opponent did a lousy job playing, it will be obvious? nothing more needs to be said. Just learn from your mistakes and take steps to prevent it from happening again!

What cannot be condoned is the behavior of a player who causes a commotion with loud verbal outbursts, swearing in the presence of young children and grown adults, throwing pieces, etc. Even the behavior of not shaking your opponent's hand and giving him/her the "cold shoulder" is contrary to building positive sports camaraderie and a poor example to others with character who know what good sportsmanship is.

So what is to be done about poor sportsmanship at tournaments? Both tournament directors and players have a responsibility. First, it is the tournament director's obligation to nip this negative behavior in the bud. If this means throwing a hostile player out of an event to send a clear signal to everyone else, then that is what is required to maintain the integrity and reputation of the event and chess. Second, it is the responsibility of the chess players, in general, to tactfully criticize negative, un-sportsman like behavior when given the opportunity. The sooner the sore loser gets the idea that his/her behavior is not appreciated, perhaps the more quickly they can reassess their attitude and priorities in the game.

And at the end of the day, isn't that what chess is all about: Evaluating different options and their consequences, establishing priorities, and building a plan to reach a desired objective? People who can grow by mastering these moves in life will be farther along than the strongest grand master who can't master these principles beyond the board. Thank you.

世界ジュニア選手権アテネ2001

世界ジュニア選手権が8月16日～29日ギリシアのアテネ市、ペリステリで行われた。この大会は過去に世界チャンピオンなど有名選手を数多く輩出した由緒ある20歳以下の競技会。例えば元優勝者には1969年カルポフ(ロシア)、1980年カスパロフ(ロシア)、1987年アナンド(インド)、1988年ロチエ(フランス)、1998年サヴァカソフ(カザフスタン)がいる。サヴァカソフは前号で紹介した若手。アスターナでは最下位ながらカスパロフから2引き分けを奪って注目された。



<対局する女子選手>

世界各地から選りすぐった男子91人(GM 3人、IM 19人含む)と女子62人(WGM 4人、WIM 9人含む)がスイス式13ラウンドを戦った。男女とも最終ラウンドまでもつれこむ混戦を制したのは、男子、アックス(ハンガリー)、女子、コネル(インド)。国別では予想通り中国勢が上位に多数入る強さを見せた。上位3名は以下のとおり。

GM、WGMなどのタイトルはプロという意味。なお日本人はひとりも参加していない。あなたが未来の選手です。

男子

- 1位 ペーター・アックス 10点
(ハンガリー) GM 2514
- 2位 メレブ・ガグナシビリ 9.5点
(ロシア) IM 2445
- 3位 レヴォン・アロニアン 9点
(アルメニア) GM 2563
- 3位 ニー・フア 9点
(中国) FM 2568

女子

- 1位 ハンピー・コネル 9.5点
(インド) WIM 2387
- 1位 ツアオ・シュエ 9.5点
(中国) WGM 2372
- 3位 ナデーシダ・コシンツェーバ 9点
(エストニア) WFM 2327
- 3位 グー・シャオピン 9点
(中国) 2300
(山田 明弘)

次期世界獲得にカルポフが意欲

ロシアの元世界チャンピオン、アナトリー・カルポフが11月25日からモスクワ・クレムリンで行われる世界選手権に出場すると宣言した。



<元世界チャンピオン GMカルポフ>

カムバックにはちょうど良い時期。」ボリショイ劇場で2000人近いゲストと復活を望むたぐさんの友人を前にして、私は今年50歳の誕生日を

祝った。先日のブエノスアイレスで行われたナイドレブ記念カップ戦での勝利はふたたび返り咲こうという思いに火をつけた。」とカルポフは語った。もうひとつの理由は世界選手権のサイクルが1年から2年に変わったことだ。

カルポフはモスクワの世界選手権は愛する国ロシアに恩返しするよい機会だと言う。私は西側から1975年にそのタイトルを奪い返した。今2001年になり、東側から祖国ロシアにそのタイトルを戻すのは私の義務と感じている。」

現チャンピオン、インドのヴィスワナサン・アナンは昨年世界選手権がニューデリーとテヘランで行われたときに、そのタイトルを取っている。アナンは前回『地元の利』を得た。世界選手権があるのは今回ロシアであり、有利なのは私の方だ。」とカルポフは付け加えた。



<現世界チャンピオン GMアナン>

3Kトーナメント(カスパロフ、クラムニック、カルポフの3人による対戦)に関しては、実行委員会と実施時期について来年の始め頃になるように詰めている段階。M・ボトビニックの後押しもあり前向きに考えている。」とカルポフは答えた。

(10月10日、ウイーンにて)

(インターネットの記事より 山田 明弘 訳)

伝説の棋士がネットに参上

フィッシャーが匿名でインターネットに！

ボビー・フィッシャー。最も有名なマッチに勝利し1972年世界チャンピオンになり、そしてそのまま

<函館チェスクラブ会報 No.5>

謎の雲隠れをした男。その男がインターネット上で親しいGM(グランドマスター)と匿名で対局していたという

フィッシャーが実質30年間の失踪から姿を現したと発表したのは、1993年にガリー・カスパロフの公式挑戦者であったイギリスのGMナイジェル・ショートだ。

ショートは過去1年間フィッシャーと早指しを50局近く戦ったという

伝説の棋士と対戦できたのは99%確かだと思う。非常に感激している。」とショートは語った。1972年、レイキャピクで行われた『米ソ対決』でロシアの世界チャンピオン、ボリス・スパスキーを破った男と、ショートを軽打打ち負かした者が、同じ人間であることの、はっきりした証拠があると、ショートは言う

1992年に、フィッシャーが公衆の目から消えて20年後、彼は突然スパスキーとセルビアで再戦するために戻ってきた。フィッシャーは賞金2百万フランを獲得し、すばらしいチェスを指し、セルビアに対する経済制裁に従わなかった罪で米国政府が彼を捕らえようとする前に、再度行方をくらました。

ショートは昨年、ギリシャの某GMに、現在58歳のフィッシャーが匿名でネット対局をしていると聞いたが、まさかと思っていたようだ。しかし、とうとうショートはその匿名の相手とインターネットで対戦に成功し、対戦中に『チャット』したという



<スパスキー対フィッシャーの再戦>

昨年の10月、計4回の出会いのうち最初の対戦で、ショートは、0対8で敗れた。ショートといえ

7 ページ

ば、1995年当時世界チャンピオンだったカスパロフ氏と早指しを行い、6対6で引き分けたこともある世界トップクラスのプレーヤーである。



< GMカスパロフとGMシヨト(右)>

私の意見ではフィッシャーはカスパロフより強い。これは、彼が近代チェス界では事実上引退と見なされる年齢、58歳だと考えると信じられない。」とシヨトは語った。

シヨトがネット上でフィッシャーと対戦していたという確実な証拠は、シヨトが「アーモンド・アセベドを知っているか？」とあるメキシコの無名プレーヤーについて聞いたとき、即座に「ジーゲン、1970年」と返答したことだという。フィッシャーは1970年、ジーゲンオリンピックでアセベドと対戦している。「彼は明らかに何かを伝えようとしていた。」とシヨトは語った。

フィッシャーは日本に住んでいる！

最初、シヨトはこのことを秘密にしておこうと考えたという。しかし、ネットにフィッシャー出沒の噂がチェス界に広がったため、明らかにすることを決心した。フィッシャーは日本に住んでいると信じられている。

シヨトは今回の暴露でフィッシャーと二度とプレーできないだろうと恐れている。しかし、これまでの棋譜は彼の宝物となるだろう。私にとっては、未発表のモーツァルトの交響曲ですから。」とシヨトは語った。

(9月9日イギリス・ABC、アンドリュー・アラーソンの記事より 山田 明弘 訳)

会員の熱戦譜

=====

函館チェスクラブ練習会

月日 : 9月 22日

持ち時間 : 25分切れ負け

備考 : 3手目までの局面指定 (ジョコ・ピアノ)

=====

No.5_01

白 : 高佐 一義 vs. 黒 : 嶋原 健

1. e4 e5

2. Nf3 Nc6

3. Bc4 Bc5

4. O-O Nf6

5. c3 d5

{ 黒、ちょっと怖いが、取る手がおもしろかった。以下 6. d4 d5 7. Bb5。

キャスリングしていないのに ポーン d5 と中央から反撃した黒は冒険しすぎか。白が exd5 と落ち着いてポーンを取っていれば、キングの安全な白が有利。

つまり、6. exd5 Nxd5 7. Qb3 Na5 8. Qa4+ c6 9. Bxd5 Qxd5 ここで 10. b4! が B と N の両取りできびしい攻撃になる。ただし、あわてて 10. Qxa5 と取ると Bxf2+ とされ、次の手で Qxa5 とクイーンを抜かれてしまう! }

6. d4 dxc4

7. dxc5 Bg4

8. Qxd8+ Rxd8

9. Nbd2 b5

10. cxb6

{ アンパサンという特殊ルールの実例。このように 5 段目のポーンは 2 歩進んだポーンを取ることができる。局面は c4 に弱点を持つ黒がやや苦しい。}

- 10. ... axb6
- 11. h3 ? Bh5
- 12. Re1 Rd3 !
- 13. Nh2 ! Bg6
- 14. a4 O-O
- 15. Nhf1 Re8
- 16. Ng3 ? Na5 !

{b3の地点はポーンの谷間になっていてナイトにとっては居心地のよい場所。白は16. f3が正しかった。黒優勢となる。}

- 17. Ndf1 Nb3
- 18. Rb1 Ra8
- 19. Bg5 Rxa4
- 20. Nf5 Bxf5
- 21. exf5 Nd7
- 22. Rbd1 f6
- 23. Be3 Nbc5
- 24. Nd2 !

{白不利ながら最高のねばり。c4とe4が大切な場所だとわかって指せる手。黒は早く Ra2 と b2 ポーンを攻めていれば勝ちだった。}

- 24. ... g6
- 25. fxg6 hxg6
- 26. Kh2 Kf7
- 27. g4 g5
- 28. Kg3 e4
- 29. Rh1 Ne5
- 30. h4 gxh4+
- 31. Rxh4 Ke6
- 32. Rh7 c6
- 33. Kh4 Rd7
- 34. Rxd7 Ncxd7 ??

{当然反対のNで取る手。白のねばり勝ち。}

- 35. Nxe4 Nf3+
- 36. Kg3 Nde5
- 37. Rd6+ Ke7
- 38. Bxb6 Ra8
- 39. Bc5 Nd7
- 40. Bb4 c5
- 41. Ba3 Nd2 ??

{ 持ち時間がなかったので黒は自滅。
お二人の実力がわかる好局。}

- 42. Rxd2 1-0
- {黒投了}

=====

No.5_02

白：玉利 達夫 vs. 黒：三上 翔平

- 1. e4 e5
- 2. Nf3 Nc6
- 3. Bc4 Bc5
- 4. c3 Nf6
- 5. O-O O-O
- 6. d3 d5
- 7. Bg5 ?? dxc4

{駒を得た黒がだんぜん優勢になる。駒得をピースアップという。}

- 8. Nbd2 Bg4
- 9. Nxc4 Re8
- 10. Ne3 b5
- 11. h3 Bh5 !

{せっかく攻撃にきいているBをNと交換する手 Bxf3はだめ。静かに下がってよし。黒は好調だ。}

- 12. g4 !? Bg6

{ キング前のポーンは大切な守り役なので、すすめる手は良くない。しかし、ここで普通では勝ち目がない。白の g4 はうまい勝負手だった。}

13. h4 b4 ?

{ 黒 h6 や Qd7 がわかりやすかった。これでは g6 の B が死んでしまう。 }

14. h5 Nxh5 ??

15. Bxd8 Raxd8

16. gxh5 Bxh5

{ 完全に白ピースアップだ。しかし、残念ながらこのあと持ち時間が切れてしまう。 }

17. Kg2 bxc3

18. Rh1 g6

19. bxc3 Bxe3

20. fxe3 Na5

21. Qf1 c5

22. Ng5 Rf8

23. Qf6 Rb8

24. Rab1 Rbd8

25. Qxe5 Rxd3

26. Rxh5 !

{ 絶妙のルーク切り。次に 白 Qf5 として h7 を N と共にねらうことが可能。 }

27. ... Rd2+

27. Kf3 Nc4

28. Qxc5 gxh5

29. Qxc4 Rdd3

30. Rb7 0-1

{ 白時間切れ }

=====

No.5_03

白：田中 (母) vs. 黒：高橋 順子

1. e4 e5

2. Nf3 Nc6

3. Bc4 Bc5

4. c3 d6

5. Ng5 ?? f6 ??

{ 白の Ng5 は黒クイーンのエサになってしまう大悪手。黒は Qxg5 でよいのにお付き合い。しかも弱点である f7 をあけてしまうのはまずい。 }

6. Nf7 ! Qd7

7. Nxh8 Nh6

8. Qh5+ Kd8

9. Nf7+ Nxf7

10. Bxf7 b5

11. c4 bxc4

12. Bxc4 g6

13. Qh4 Na5

14. Qxf6+ Ke8

15. Bf7+ ? Qxf7

{ 黒は B をプレゼントされたが、それでもなお黒は苦しい。 }

16. Qh4 Nc4

17. d3 Nb6

18. Nc3 Be6

19. Nb5 ? Bb4+ !

{ 白は何が何でも 0-0 するべき。すかさず黒のチェックが鋭い手。序盤、中盤はキングの安全第一。 }

20. Bd2 Bxd2+ 1/2-1/2

{ 次の手が 21.0-0 というルール外の手であった。局面は白優勢。さらに以後の局面も再現できなかった。 }

{ この後は黒が大逆転したが、時間切れとなり、両者とも引き分けに同意。二転三転の大熱戦。 }

=====

No.5_04

白：田中 春行 vs. 黒：高橋 晃彦

1. e4 e5

2. Nf3 Nc6

3. Bc4 Bc5

4. O-O Na5 ?

{ チェスの序盤で、前に動かした駒を何回も動かすと、他の駒が動かないことになるので手損。

例えば 5. Nxe5 Nxc4 6. Nxc4 でポーンアップ。}

5. Bd3 c6

6. b3 ! d5

7. Bb2 ! Bg4 ?

8. exd5 Nf6 ! ?

{黒はポーンを気にしないでキャスリングを目指している。良い作戦だ。しかし e ポーンを取られて黒が少し苦しい。}

9. dxc6 O-O

10. cxb7 Rb8

11. Bxe5 Rxb7

12. Bxf6 gxf6 ! ?

13. Nc3 Bb4

14. Ne4 ! Kh8 ! ?

{ここからがこのゲーム最大の見所だ。黒の作戦は Rg8 から白キングへの直接攻撃。対する白は、Qb2 でQを a1 - h8 筋にきかせて黒のキングを狙う。どちらもすばらしい作戦。はたしてどちらの作戦が勝利への道か?}

15. Qb1 ! Rg8

16. Qb2 ? Bxf3 !

{Qb2 では一時間に合わなかった。ちょっとくやしいが Kh1 とがまんしておいて、その後 Qb2 なら白の勝ちだったろう。作戦は白が正しかった。}

17. Nxf6 ? Rxc2+

{最後のチャンスは白 17. Ng3}

18. Kh1 Rg6# O-1

{ 黒チェックメイト。

負けたとはいえ春行君のたてた作戦はすばらしいし、

初勝利を呼び込んだ晃彦君の積極性も印象的。両者の作戦が正面からぶつかり合った見ごたえのある一局であった！}

=====

No.5_05

白：浅間 花枝 vs. 黒：大野 航

1. e4 e5

2. Nf3 Nc6

3. Bc4 Bc5

4. O-O Nf6

5. d3

{ジョコ・ピアニシモという立派な戦法。このように e ポーンを守っておく方が初級者にはわかりやすいだろう。}

5. ... d6

6. Ng5 h6

7. Nf3 b6

8. Nh4 d5 ?

9. exd5 Bg4 ! ?

10. Qd2 O-O ?

11. Nf5 ? Bxf5

12. Ba6 Qxd5

13. Bb7 Rab8

14. Bxc6 Qxc6

{気がついてみると黒の勝勢。局面を評価する一番簡単な方法は駒を数えて多いほうがよいという判断だろう。この局面は黒のピースアップ。}

15. Re1 Rfe8

16. Re3 Ng4

17. Rf3 Bd4 ?

18. Rxf5 Qe6

19. Rf3 e4

20. Rf4 b5

21. Rxc4 Qxc4

22. c3 Bc5

23. Qe1 b4 ?

{ここでは後ろに控えるRにより白のQをいじめるのが良い手だった。こういう戦法をディスカバード・アタックという。}

24. Be3 g6

25. f4 Bxe3+

26. Qxe3 bxc3

27. bxc3 Rb5

28. h3 Qf5

29. dxe4 Qd7

30. Qxa7 Qd1+

31. Kh2 Rb2

32. Qxc7 Qf1 !

{これが決め手。Qxg2のチェックメイトを防げない。しかし白は気付いていなかった。

ルークの横利きがレーザー光線のように白の陣地を切っている。このようなRをセブンスルークといって理想形のひとつ。

それにしても白のQは敵陣であばれまくる。上手な攻めだ。}

33. Qd7 Kg7

34. Qxe8 Qxf4+

35. Kh1 Rb7 ?

36. Qa8 Re7

37. Qd5 Qf1+

38. Kh2 Qf4+

39. Kh1 1-0

{黒時間切れ}

(山田 明弘)



< 10歳以下女子世界1 ツォン選手 (中国) >

チェス学校

幼稚園

幼稚園では以下の本で序盤戦の戦い方を学びましょう

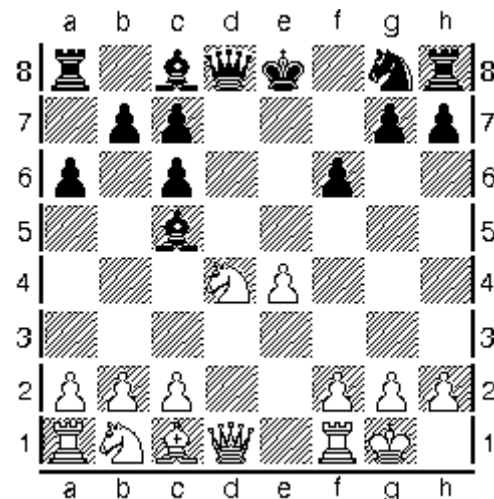
Bruce Pandlfini 著, The Winning Ways, Simon & Shuster, 1998

この本では、序盤での数々の失敗とそれをとがめる手を次の1手形式で示しています。

問題1.

定跡 ルレイ・ロペス

1. e4 e5 2. Nf3 Nc6 3. Bb5 a6 4. Bxc6 dxc6 5. 0-0 f6 6. d4 exd4 7. Nxd4 Bc5

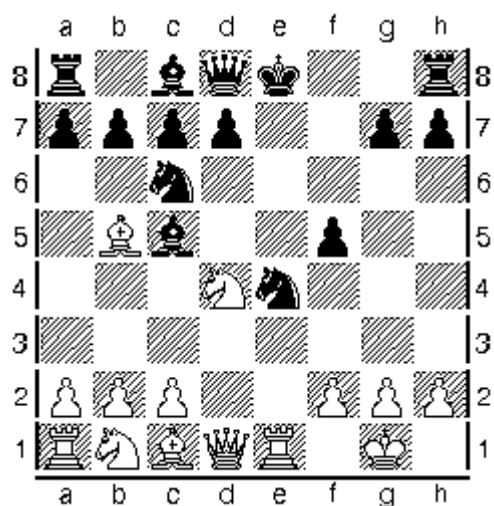


白の次の1手は？

問題2.

定跡 ルレイ・ロペス

1. e4 e5 2. Nf3 Nc6 3. Bb5 Nf6 4. 0-0 Nxe4 5. d4 exd4 6. Re1 f5 7. Nxd4 Bc5



白の次の1手は？

解答は次号で発表します。

小学校

今回は都合によりお休みです。

中学校

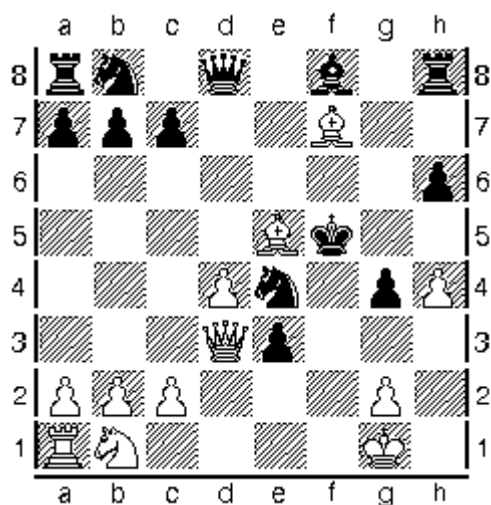
中学校では以下の本でチェックメイトの手筋をトレーニングしましょう。

Fred Reinfeld 著, 1001 Brilliant Ways to Checkmate, Sterling Publishing Co., Inc., 1955

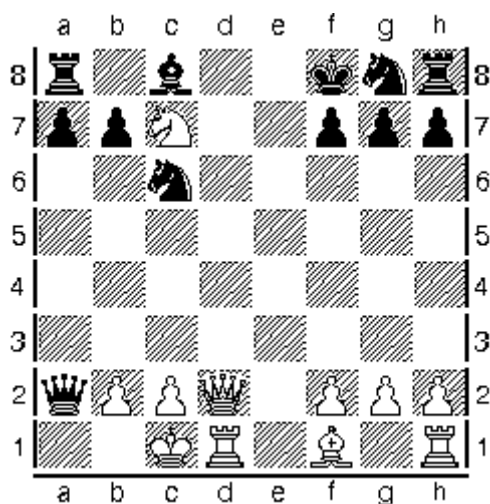
この本には手筋別に合計 1001 作もの問題が収められています。これをすべて解けば、エキスパートになれますよ。

今回もクイーン・サクリファイスがテーマです。クイーンを犠牲にしてチェックメイトする大技を決めてください。

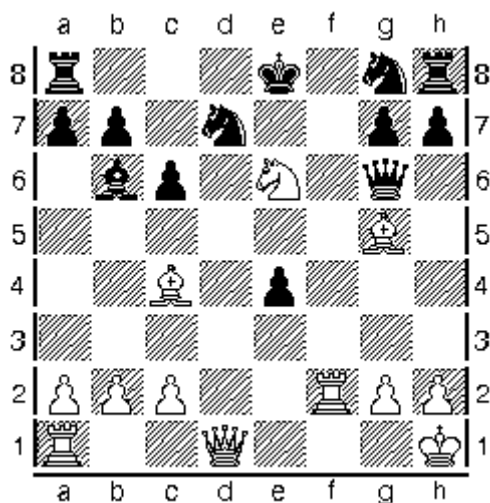
問題1.白先チェックメイト



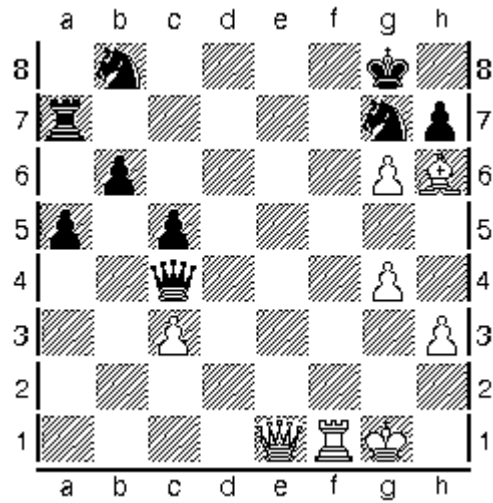
問題2.白先チェックメイト



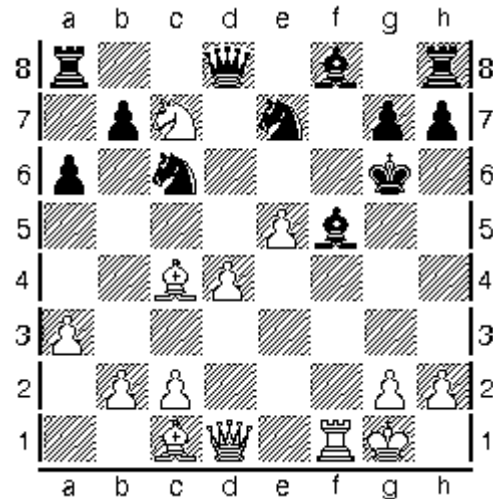
問題3.白先チェックメイト



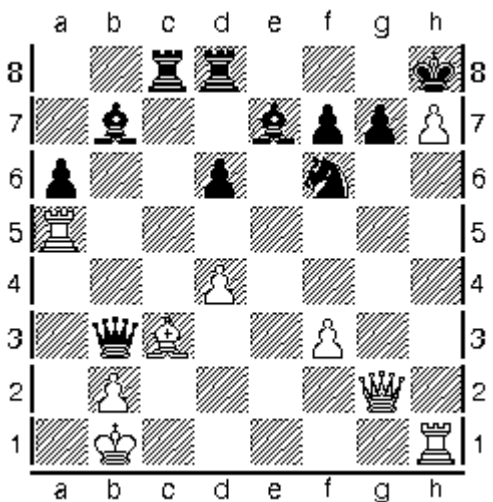
問題4. 白先チェックメイト



問題5. 白先チェックメイト



問題6. 白先チェックメイト



解答は次号で発表します。

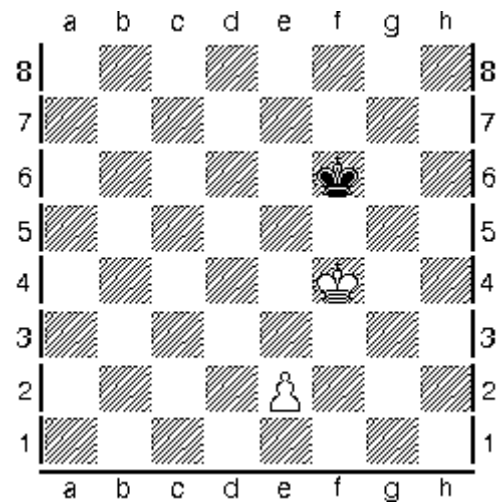
高等学校

高等学校では以下の本で終盤戦の手筋を学びましょう

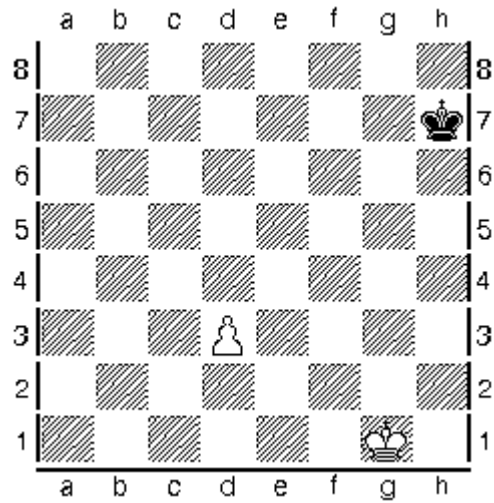
Irving Chernev 著, Practical Chess Endings, Dover Publications Inc., 1969

お互いにクイーンやビショップのような大駒を交換した後は、キングに守られながらポーンを成ることが終盤戦の重要なポイントになります。以下の問題でキングとポーンだけの終盤戦に強くなりましょう。黒が白のポーンの成りを防げないとき勝ちとします。

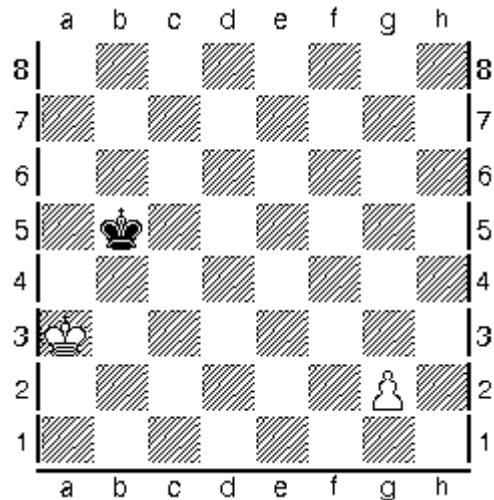
問題1. 白先勝ち



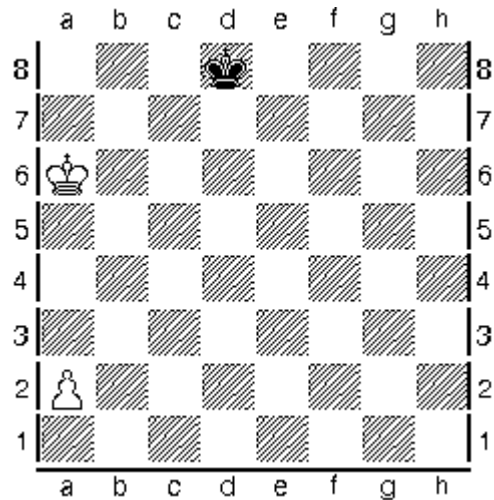
問題 2 . 白先勝ち



問題 3 . 白先勝ち



問題 4 . 白先勝ち



解答は次号で発表します。

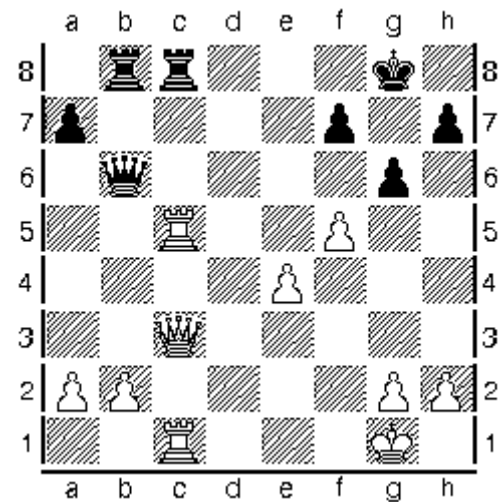
短期大学

短期大学では、中盤戦の華麗な手筋の技を以下の本で学びましょう。

Lou Hays 著, Winning Chess Tactics for Juniors, Hay Publishing, 1998

今回ご紹介する手筋はピンです。ピンとは、ビショップやルーク、クイーンのように遠くまで利きがおよぶ駒で一直線上にある相手の2つの駒を同時に攻撃する手筋のひとつで、攻撃されている奥側にある駒の方が手前にある駒より価値が高い場合をいいます。このとき、手前の駒が動くとき奥のより価値の高い駒が取られてしまうため、手前の駒が動けなくなる状態をピンといわれます。まずは例題を見てください。

問題 1 . 黒番



解答

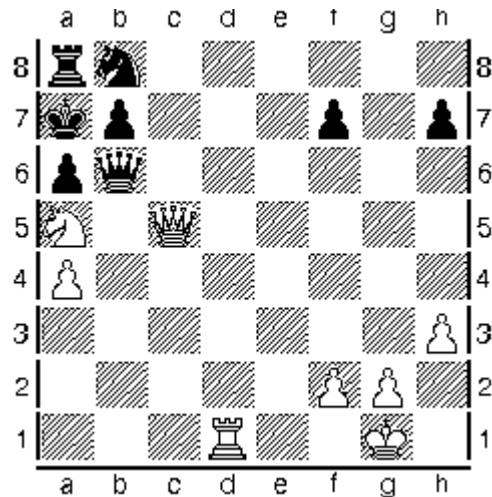
1...Rxc5 2.Qxc5 Rc8! 3.Qxb6 Rxc1+ 4.axb6

黒が Rc8 としたとき、白クイーンはそのルークを取ることができません。なぜなら、黒クイーンが遠く白キングをにらんでいるからです。これがピンです。白クイーンは黒クイーンを取るしかありません。

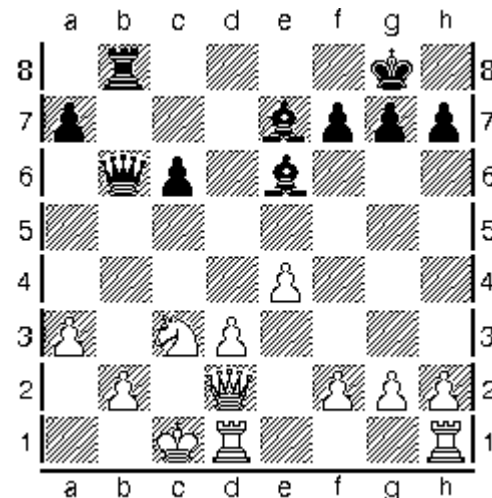
ん。そこで黒は白ルークを取りながら手順にチェックし、白クイーンも取ることができました。結果は白がルーク1個をまるまる損をしたことになりま

す。
では、みなさんも問題に挑戦してみてください。中盤戦の問題では、例題のようにチェックメイトを目指すものばかりではありません。相手の大事な駒を奪ってしまうなど、勝利につながる決定的な手を探すことが問題です。ここで紹介する問題はすべて3手以内で教えてください。

問題2. 白番



問題3. 黒番



解答は次号で発表します。

大学

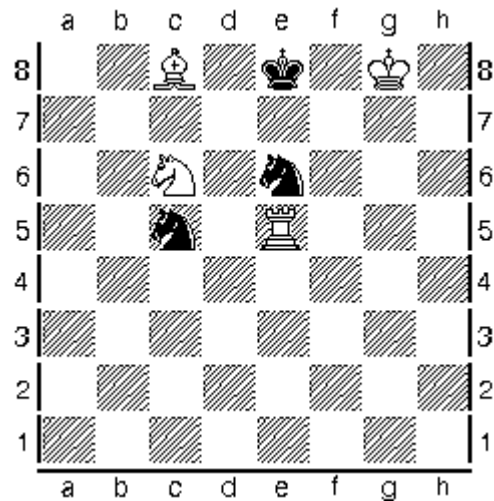
大学では以下の本でチェス・プロブレムの世界を楽しみましょう

Robert Lincoln 著, More Fun with Chess Miniatures, US Chess Federation, 2000

この本に納められているのはすべて2手メイトの問題ばかりです。チェス・プロブレムでは必ずしもチェックから始めなくてもよいので、なかなか難しいですよ。

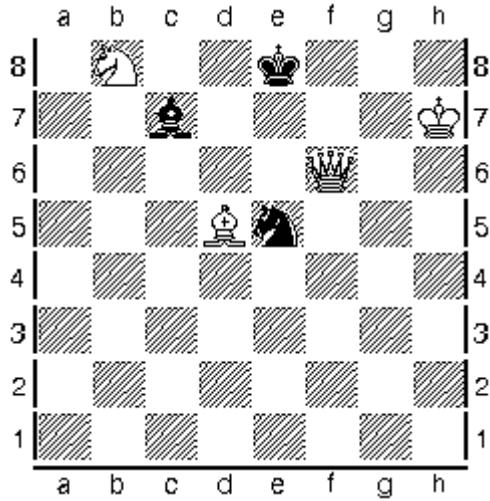
問題1. 2手でメイト(白番)

R. T. Lewis作, The Problemist, 1981年



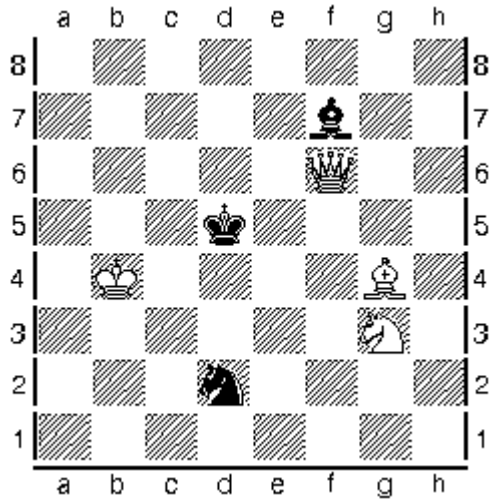
問題2. 2手でメイト(白番)

R. A. Lincoln 作, Australian Chess Problem Magazine, 1997年



問題3. 2手でメイト(白番)

R. A. Lincoln 作, Australian Chess Problem Magazine, 1997年



解答は次号で発表します。

大学院

大学院ではスタディまたはエチュードと呼ばれる終盤戦の問題を以下の本で研究しましょう

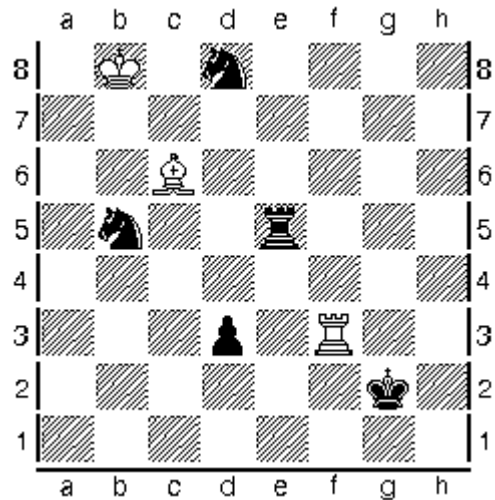
John Beasley & Timothy Whitworth 著, Endgame Magic, B. T. Batsford, Ltd, London, 1996

スタディではチェス・プロブレムのように手数は示されず、またチェックメイトではなく勝ちまたは引き分けを目指すことになります。勝ちではチェックメイト 駒得・ポーンの成りなど、勝利に向けて決定的な手を指すことを目指し、引き分けではステールメイトを目指します。

では、さっそく問題にチャレンジしてください。どちらも駒得を目指す問題です。

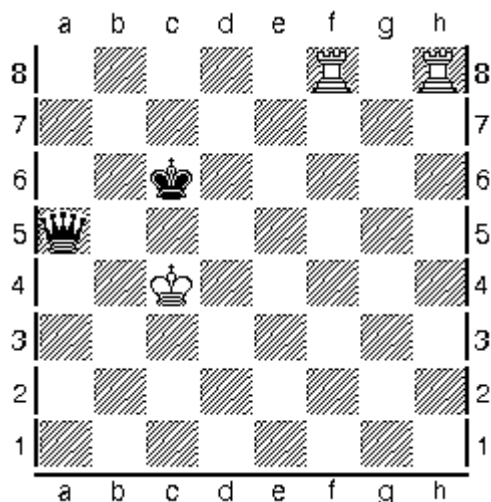
問題1. 白先勝ち

H. H. Grondijs 作, 1981年



問題2. 白先勝ち

H. M. Lommer 作, 1947年



解答は次号で発表します。

前号の解答

幼稚園

問題 1 **3...Qh4+**

白キングが **4.Ke2** と逃げると **4...Qxe4#** になるので **4.g3** とするしかありません。しかし、**4...Qxe4+** とされて **h1** のルークが助かりません。ですから、白は **3.Nf3** として **h4** のマスを守る必要があったのです。

問題 2 **6.Qh5+**

黒は **6...g6** とするしかありません。しかし、**7.Bxg6+ hxg6 8.Qxg6#** となってメイトされてしまいます。黒は **3...dxe4 4.Bxe4 Nf6** として中央のポーンを取りつつ手順にナイトを展開する方がよかったです。また **4...Nfd7** としたこと黒キングが窮屈になったのも問題です。最後に、**5...fxe6** とすることで **e8** から **h5** への対角線を開いたのが致命的なミスで、これでメイトされてしまいました。

中学校

問題 1 **1.Qxd6+ Kxd6 2.Bf4+ Kd7**

3.Be6#

問題 2 **1.Qe1+ Rxe1 2.g3#**

問題 3 **1.Rc8+ Qxc8 2.Qxg7+ Rxg7**
Rxg7#

問題 4 **1.Qh6+ Rxh6 2.Bxh6+ Kh7**
3.Bf8#

問題 5 **1.Qxh7+ Kxh7 2.Rh4+ Kg8**
3.Re8#

問題 6 **1.Qxa7+ Kxa7 2.Ra2+ Qa4**
3.Rxa4#

高等学校

問題 1 **1.Kf5 Kf8 2.Kf6! Ke8 3.Ke6Kd8**
4.d7 Kc7 5.Ke7

白キングはオポジションを維持することで大事なポーンを守ることができました。

問題 2 **1.Kd5 Kd7 2.Kc5 Kd8 3.Kd6!**
Kc8 4.Kc6 Kb8 5.b7 Ka7 6.Kc7

これもオポジションを維持することで勝ちが見えます。

問題 3 **1.Kg6! Kf8 2.Kf6 Ke8 3.Ke6 Kd8**
4.Kd6 Kc8 5.Kc6 Kb8 6.Kd7
Kb7 7.c5 Kb8 8.c6 Ka2 9.c7

白キングは一目散に **c6** のマスへ向かい、ポーンのプロモーションへの道を守ります。

問題 4 **1.Kf7! Kh8 2.Kg6! Kg8 3.Kh6**
Kh8 4.g6 Kg8 5.g7 Kf7 6.Kh7
Ke7 g8=Q

白キングはポーンの前に陣取りプロモーションへの道を守ります。

短期大学

問題 1 **1...Qxd4 2.exd4 Bb4+ 3.Kd1**
Re1#

問題 2 **1...Qg2+! 2.Kxg2 Rxg3#**

問題 3 **1...Nf3#**

大学

問題 1 **1.Qd7 Kh4 2.Qg4#**

問題 2 **1.g4 Kxh4 2.Bf6#**

問題 3 **1.Kh2 d1=Q 2.Rf2#**

大学院

問題 1 **1.Kb4 Be6 2.Rd6 Bf7 3.Bg6 Nh6**

4.Kc3! Kh2 5.Bh5!! Bxh5 6.Rxh6

最初に **Rg7+** のフォークが目につきますが、黒ナイトは黒ビショップが守っていますので、まずそれに働きかけることとなります。

3.Bg6 で黒は困りました。 **3...Bxg6** なら

4.Rxg6+ でナイトが取られますし

3...Ba2 なら **4.Rd1+** から **5.Rd2+** でビショップが取れますので、 **3...Nh6** とビショップを守るしかありません。ところが、

4.Kc3 でまた黒は困りました。 **4...Ba2** なら **5.Rd1+** ですし **4...Bg8** なら **5.Bh5** でナイトが助かりません。 **4...Kf2** なら

5.Rf6+ でビショップが取られ、 **4...Kg2** なら **5.Be4+** でナイトが取れます。よって、 **4...Kh2** しかないのですが、 **5.Bh5** が決め手です。 **5...Bxh5 6.Rxh6** でビショップが助かりません。

問題 2 **1.Bd5 Bc8 2.Bd6! Nd7 3.Bc7 Nb7**
4.Bc4+ Kf2 5.Nh7!

まず **1.Bd5** で **a5** のナイトを動けなくします。つぎに **2.Bc7** で **a5** のナイトが取られてしまうので、 **1...Bc7** として **2...Nc6** をねらいますが、このときには **2.Bd6** とされ、今度は **f8** のナイトがねらわれ、唯一の逃げ道である **c7** を自ら閉ざす結果になります。また、 **1...Nd7** として、 **2.Bc7** のとき **2...Nf6** と反撃するのは、 **3.Bg2+ Kf2 4.Bxa5 Kg3 5.Be1+** となりますし **1...Be2** として **2...Nc4** と脱出をねらうのは、 **2.Bg2+** から **3.Nh3** でメイトされてしまいます。そこで

1...Bc8 としてナイトを **b7** へ逃がそうとするのですが、 **3.Bc7** となって黒は困ってしまいます。 **3...Nb7** とするしかないのですが、これでビショップの行き場がなくなりました。 **5.Nh7** となって、キング以外の黒の駒は身動きが取れなくなりました。後は、白はただ **6.Ng6** から **7.Ne7** としてビショップを取るだけです。

(川越敏司)

編集後記

浅間さんの青春時代とくらべたら今の苦労はなんと少ない。日本も戦争を経験したのだということは忘れてはいけない。チェスは平和な世界にのみ存在できると思う

「勝つことがすべてではない」はそのとおり。でも、一方でマナーを大切にしつつ、負けたら真剣にくやしがってほしいと思うな。

「勝つことが・・・」の記事を掲載したUSCFの雑誌チェス・ライフは年会費40ドルで、毎月ニューヨークから届くよ。いかが？

お隣の中国では国を挙げて若者にチェスを奨励。国際的な視野にたつての政策。

それにしても「フィッシャーが日本に」は本当かよお。何しろ現在は米国のお尋ね者ですからねえ。実は隣に住んでいるオジさんがそうだったりして！！

発行者代表：山田 明弘 (電話 01376-3-2846)

連絡先：高佐 一義 (電話 0138-50-2558)

(函館市西旭岡町2-2-11)

ホームページ作成：川越 敏司